

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。シチズンのホームページ(<http://citizen.jp/>)でも操作方法がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただけます。

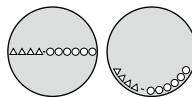
## 機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。

この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。

例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は  
異なります。

## 安全にお使いいただくために 一必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、9、10ページを必ずお読みください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

### 危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。

### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

## この時計の特長



### 専用アプリでスマートフォンと接続

電話着信などの各種通知を時計に表示させます。また、スマートフォンの置き忘れ防止や見当たらぬスマートフォンを探すのに役立つ機能もあります。専用アプリについては、お使いのスマートフォンのアプリサイトからダウンロードしてください。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

<http://citizen.jp/support/guide/manual.html>



### エコ・ドライブ(Eco-Drive)

光で充電するため、定期的な電池交換がいりません。



### アラーム

設定した時刻にアラームを鳴らします。専用アプリから設定することもできます。



### クロノグラフ

最大60分、1秒単位のクロノグラフ機能です。



### ローカルタイム

時差を設定するだけで、世界各地の時刻を簡単に表示できます。専用アプリから設定することもできます。



### パーペチュアルカレンダー

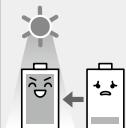
2100年2月28日まで月末やうるう年のカレンダー修正は不要です。

・「エコ・ドライブ」は、シチズン独自の技術です。

## もくじ

ご使用になる前に	2
専用アプリからの操作について	2
バンド調整について	2
保護シールについて	2
特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた	2
各部の名称	2
モードを切り替える	2
充電量を確認する	2
スマートフォンを接続する前に	3
接続できるスマートフォンについて	3
時刻受信について	4
時計の通知表示について	4
通知表示を解除する	4
スマートフォンをペアリング(登録)する	4
登録情報の保存先を選ぶ	4
スマートフォンを接続/切断する	5
接続状態を確認する	5
接続を切断する	5
接続する	5
スマートフォンを選んで接続する	5
スマートフォンを鳴らす	5
ペアリング(登録)情報を削除する	5
ローカルタイムを使う[Local Time]	6
クロノグラフを使う	6
アラームを使う[Alarm]	6
充電について	7
時刻・カレンダーを手動で合わせる	7
困ったときは	8
基準位置を確認・修正する	8
Bluetoothについて	9
エコ・ドライブ取り扱い上の注意	9
防水性能について	9
お取り扱いにあたって	9
保証とアフターサービスについて	10
製品仕様	10

## ご使用になる前に



この時計は、文字板に光を当てて充電します。時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。充電については、7ページ以降をご覧ください。

開封後、スマートフォンとの接続を始める前に、2ページで、時計の充電量をご確認ください。

### 専用アプリからの操作について

専用アプリを使って、この時計の機能を操作することもできます。詳しくは、3ページをご覧ください。



アプリからも操作できる機能を含む項目については、本文の項目タイトル横にアイコンを配置しています。

### バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。

バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

### 保護シールについて

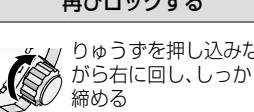
時計のガラスや金属部分(裏ぶた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

### 特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

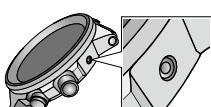
#### ■ ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出します で、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロック ボタン	 ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	 ねじを右に回し、しっかり締める

#### ■ 隠しボタン

ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

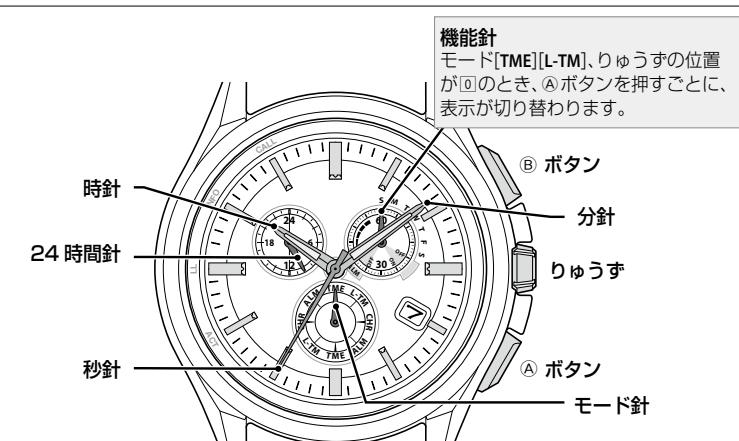


・金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

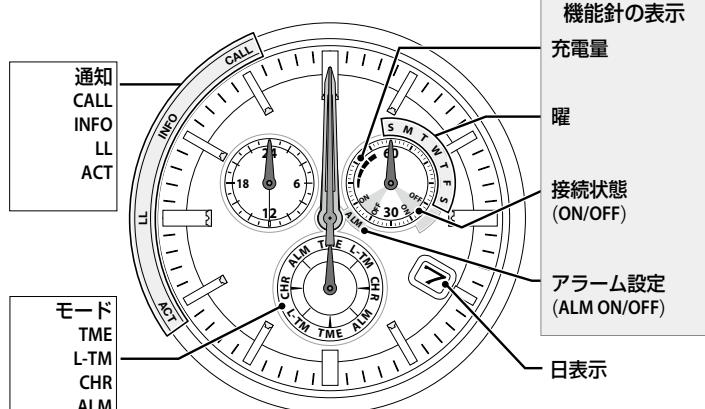
## 各部の名称

・お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

### 針とボタン



## 表示



- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

## モードを切り替える

この時計には、次の4つのモードがあります。

TME	通常の時刻を表示します。
L-TM	モード[TME]とは異なる時間・カレンダーを表示します。
CHR	クロノグラフを使用するためのモードです。
ALM	アラームの設定を行うためのモードです。



### 1 りゅうずの位置を①にする

秒針が30秒を指して停止します。



### 2 りゅうずを回して、モードを切り替える

・モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。

### 3 りゅうずの位置を①にして終了する

時計の各表示が、選んだモードの表示に切り替わります。

・表示の切り替えに時間がかかる場合があります。

## 充電量を確認する

充電について詳しくは、「充電について」(7ページ)をお読みください。

### 充電量を確認する

- 充電量の表示については、3ページをご覧ください。



### 1 モードを[TME]または[L-TM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする

### 2 ④ボタンをくり返し押して、機能針が充電量を表示するようになる



充電量

## 充電量のレベル表示

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	スマートフォンを1日に6時間使用しているとき (10回程度の通知を受け取り、通知ごとに1回振動する場合) 280~250日   250~200日   200~180日			180日以下
表示の意味	十分充電されています。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まっているレベルです。
安心してお使いいただけるレベルです。			すぐに充電してください。	

### 注意

- 充電量レベルが「0」のときは、スマートフォンとのペアリング(登録)・接続・ペアリング(登録)情報の削除はできません。
- 充電量レベルが「0」のときは、Ⓐボタンを押して、機能針の表示を切り替えることはできません。
- 接続中に充電量レベルが「0」になった場合は、切断されます。ただし、時計機能は使用できます。
- 秒針が2秒ごとに動くようになると(充電警告機能、7ページ)、時計機能の一部も操作できなくなります。

## スマートフォンを接続する前に

この時計は、省電力通信技術 Bluetooth Low Energy を使用し、スマートフォンと接続します。

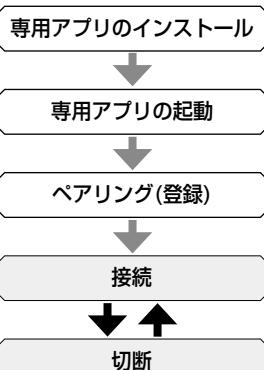
接続には、スマートフォンに専用アプリ「CITIZEN Bluetooth Watch」をインストールし起動させ、ペアリング(登録)する必要があります。

接続までの流れは、次のようにになります。

\* Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

\* Androidは、Google Inc.の登録商標です。

\* iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。iOSは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国および他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。



## 接続できるスマートフォンについて

接続できるスマートフォン(Android OS 5.1/iOS 9.3以降に対応、このアプリはiPhone5以降に対応しています。)や専用アプリについての情報は、次のサイトで確認できます。

<http://citizen.jp/support/guide/manual.html>

- この時計には、アプリから時計本体を操作したり、アプリ特有の機能があります。

### お知らせ

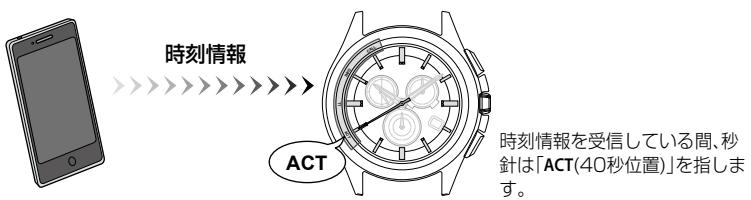
飛行機内など電子機器の使用について制限があるときは、スマートフォンとの接続を切断(5ページ)し、時計のモードを[CHR]にします(2ページ)。

## 接続してできること

### 時刻情報を受信する(4ページ)

スマートフォンから取得した時刻情報に基づき、時計の時刻・カレンダーを合わせます。

- アプリで設定する必要があります。



### 電話着信通知(CALL/呼び出し)

スマートフォンに着信があると、着信通知が時計に届きます。



着信通知を受け取ると、秒針が「CALL(55秒位置)」を指します。

- アプリの設定で、音や振動を加えることができます。

### 各種通知(INFO/お知らせ)

メール/スケジュール/SNSなどスマートフォンが通知を受け取ると、通知が時計に届きます。

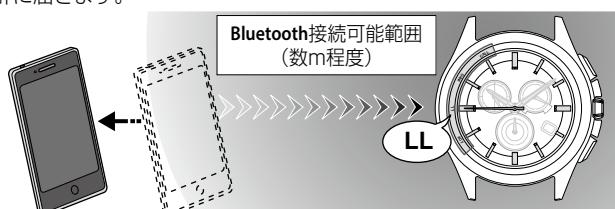


各種通知を受け取ると、秒針が「INFO(50秒位置)」を指します。

- アプリの設定で、音や振動を加えることができます。

### 切断通知(LL)

時計とスマートフォンの距離が離れるなど接続が不意に切断されると、切断通知が時計に届きます。



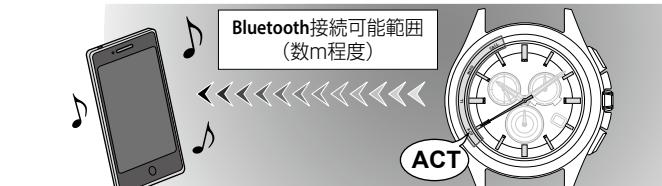
接続が切断されると、秒針が「LL(45秒位置)」を指します。

- アプリの設定で、音や振動を加えることができます。

### スマートフォンを鳴らす(5ページ)

登録したスマートフォンに通知を送ります。通知を受け取ったスマートフォンから通知音が聞こえています。

- 切断中のスマートフォンに通知を送ることもできます。



通知を受けると、スマートフォンは通知音を発し続けます。

通知を送り始めると、秒針が「ACT(40秒位置)」を指します。

## 時刻受信について

この時計は、スマートフォンから時刻情報を取得し、時刻・カレンダーを自動で修正することができます(自動時刻受信)。

自動時刻受信は、モード[TME]の表示時刻の毎日午前3時以降に、時計のパワーセーブ(7ページ)が最初に解除されたとき働きます。

- 接続可能なスマートフォンと切断中であっても、一時的に接続して、時計は時刻情報を取得します。

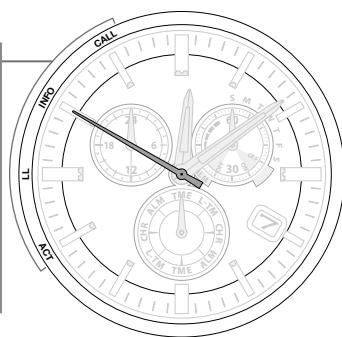
次の場合、自動時刻受信は働きません。

- 時計のモードが[TME]や[L-TM]以外のとき
- アプリの[時刻同期]設定がオフのとき

## 時計の通知表示について

通知を受け取ると、秒針が、対応する通知表示を指します。

秒針による通知表示		
表示	秒針の位置	通知の種類
CALL	55秒	電話着信通知
INFO	50秒	各種通知
LL	45秒	切断通知(Link Loss)
ACT	40秒	時刻受信または接続プロセスの進行中(Aactivation)



- 秒針の通知表示は、時計のモードが[TME]または[L-TM]でりゅうずの位置が①のときのみ行われます。上記以外の場合に通知を受け取ったときは、通知表示ができるようになるまで、通知表示は保留されます。
- 通知表示中に新しい通知を受け取ると、表示中の通知は解除され、新しい通知表示を行います。

### 通知の際の音や振動について

アプリの[Notification(通知)]設定で、通知表示に音や振動を加えることができます。

- 秒針が通知表示を行えないときにも、音や振動による通知は行われます。また、通知表示が保留されていた場合は、秒針による通知表示に併せて、音や振動による通知が再度行われます。

### 通知を受け取れる範囲について

時計とスマートフォンの接続可能な範囲は、最大でおよそ10 mです。壁などの障害物があると、より狭くなる場合があります。

また、時計を腕など体で遮らないようにしてください。

## 通知表示を解除する

秒針は、通知表示が解除されるまで、秒表示には戻りません。

- 手動で解除した通知表示を再度表示させることはできません。



### 1 通知表示中に、ⒶボタンまたはⒷボタンを1秒間押し続ける

通知表示が解除され、秒針は通常の秒表示に戻ります。  
・りゅうずの位置を変更しても、通知表示は解除されます。

## スマートフォンをペアリング(登録)する

時計とスマートフォンを接続するときは、まず登録を行います。

### 登録を行う前に

- 登録を行うと、固有の登録情報が時計とスマートフォンにそれぞれ保存されます。
- 登録情報は、保存先を選んで最大3つまで時計に保存できます。保存された登録情報はアプリで確認することができます。
- 登録済みのスマートフォンが複数あるときは、保存された登録情報を切り替えて、接続/切断することができます。(5ページ)
- すでに登録情報が保存された保存先には、登録情報を削除する(5ページ)まで、新たに登録することはできません。

### 登録情報の保存先を選ぶ



#### 1 モードを[TME]にして(2ページ)、りゅうずの位置を②にする

秒針が、現在選んでいる登録情報(保存先)を指し、機能針が接続状態(ON/OFF)を指します。

#### 2 りゅうずを回して、登録情報の保存先を選ぶ



#### 3 りゅうずの位置を①にして終了する

秒針と機能針が、通常の表示に戻ります。

## スマートフォンを登録する

- 登録には、時計とスマートフォンの両方の操作が必要です。
- 時計とスマートフォンの充電量にご注意ください。特に、時計の充電量を確認し(2ページ)、充電量レベルが「1」または「0」のときは、登録を行う前に充電を行ってください。
- 時計の登録操作には時間制限があります。登録が完了する前でも約30秒間経過すると、時計は通常の動きに戻ります。

### <スマートフォンの操作>



#### 1 アプリサイトから、専用アプリ「CITIZEN Bluetooth Watch」をインストールする

#### 2 専用アプリを起動する

- アプリ画面は表示させたままにしておきます。
- Bluetooth使用の許可を求めるダイアログが表示されたら、許可します。

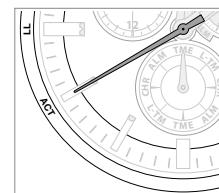
### <時計の操作>



#### 3 モードを[TME]または[L-TM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする

#### 4 Ⓑボタンを押す

秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、登録が始まります。  
・スマートフォンが登録済みの場合は、接続されます。



### <スマートフォン>



#### 5 登録が完了すると、「Connected」(接続済み)と表示されます。

登録完了までに、およそ20~30秒かかる場合があります。

登録が完了すると、時計とスマートフォンは接続されます。

### 登録に成功すると

時計の機能針が接続状態の「ON」を指し、秒針が秒表示に戻ります。



次の場合は、登録は完了していません。

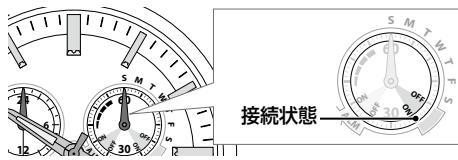
- 時計の秒針が「LL(45秒位置)」を指す
- 時計の秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、その後秒表示に戻るが、機能針が接続状態の「ON」を指していない

## スマートフォンを接続/切断する

### 接続状態を確認する



- 1 モードを[TME]または[L-TM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする
- 2 機能針が接続状態(ON/OFF)を指すまで、Ⓐボタンをくり返し押す



#### 接続状態の表示について

時計とスマートフォンの接続状態に変化があると、機能針は接続状態(ON/OFF)の表示に自動で切り替わります。

ON	OFF

接続中 接続は切断されています。

### 接続を切断する

・秒針が通知表示を指しているときは、あらかじめ解除しておきます(4ページ)。

- 1 接続中に、モードを[TME]または[L-TM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする
- 2 ⓒボタンを4秒間押す  
秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、切断が完了すると、機能針が接続状態の「OFF」を指します。



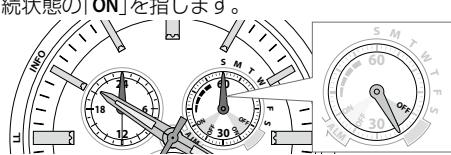
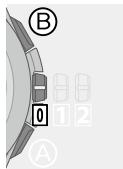
### 接続する

切断したスマートフォンに再度接続します。

・登録前のスマートフォンは、接続できません。(4ページ)

・登録済みの他のスマートフォンに接続するときは、5ページをご覧ください。

- 1 切断中に、モードを[TME]または[L-TM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする
- 2 ⓒボタンを押す  
秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、接続が完了すると、機能針が接続状態の「ON」を指します。

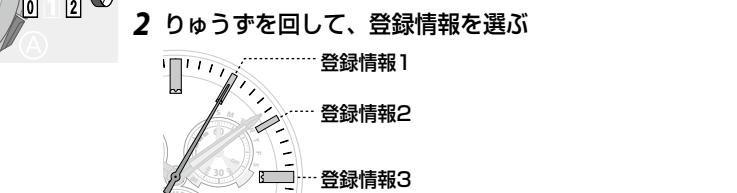


## スマートフォンを選んで接続する

3つの保存先からスマートフォンの登録情報を選んで、接続します。

・複数のスマートフォンを同時に接続することはできません。

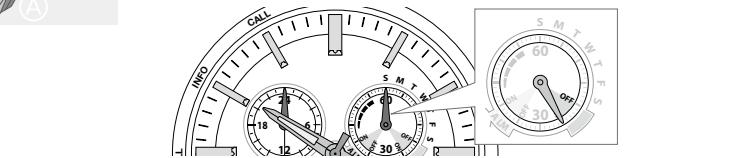
- 1 モードを[TME]にして(2ページ)、りゅうずの位置を②にする  
秒針が、現在選んでいる登録情報を指し、機能針が接続状態(ON/OFF)を指します。



- 2 りゅうずを回して、登録情報を選ぶ

- 3 モードを[TME]のまま、りゅうずの位置を①にする  
・他のスマートフォンが接続中だった場合は、切断されます。

- 4 ⓒボタンを押す  
秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、接続が完了すると、機能針が接続状態の「ON」を指します。



## スマートフォンを鳴らす

現在接続相手として選んでいるスマートフォンが、接続範囲内にあるときに、スマートフォンを鳴らすことができます。

- ・この機能は、接続中でなくても使用できます。
- ・秒針が通知表示を指しているときは、あらかじめ解除しておきます(4ページ)。

- 1 モードを[TME]または[L-TM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする
- 2 ⓐボタンとⒷボタンを同時に押す  
スマートフォンが鳴り始めます。  
・スマートフォンで止めるまで音は鳴り続けます。
- 3 スマートフォンの画面にしたがって、音を止める

## ペアリング(登録)情報を削除する

スマートフォンを時計に登録すると、時計とスマートフォンにお互いの登録情報が保存されます。

次のようなとき、時計とスマートフォンのそれぞれの登録情報を削除することで、接続できないなどの問題が解決できる場合があります。

- ・時計かスマートフォンのいずれかの登録情報を削除してしまったとき
- ・同じスマートフォンを別の保存先に登録したいとき
- ・アプリをアップデートしたり、再度ダウンロードしたとき
- ・登録後、正しい手順を行っても再接続ができないとき

### 時計から登録情報を削除する

- 1 モードを[TME]にして(2ページ)、りゅうずの位置を②にする  
秒針が、現在選んでいる登録情報を指し、機能針が接続状態(ON/OFF)を指します。

- 2 りゅうずを回して、削除する登録情報を選ぶ

- 3 ⓒボタンを約7秒間押し続ける  
秒針が一回転したら削除は完了です。

- 4 りゅうずの位置を①にして終了する  
秒針と機能針が、通常の表示に戻ります。

### スマートフォンから登録情報を削除する

- 1 スマートフォンのBluetoothの登録機器のリストから「Eco-Drive W770」を削除する

削除の方法は、お使いのスマートフォンでご確認ください。

・「Eco-Drive W770」がないときは、削除済みです。



## ローカルタイムを使う[Local Time]



- モード[TME]の表示時刻と異なるもう一つの時刻(ローカルタイム)を表示させることができます。
- ・ローカルタイムは、UTC(協定世界時)との時差±27時間以内の範囲で変更できます。
  - ・日表示/曜表示も、ローカルタイムに合わせて表示されます。

### ローカルタイムを表示させる



- モードを[L-TM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする  
ローカルタイムが表示されます。  
・機能針が、曜を表示していないときは、Ⓐボタンをくり返し押します。

### ローカルタイムの時刻を変更する



- モードを[L-TM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を②にする  
秒針が0秒を指し、ローカルタイムが表示されます。
- りゅうずを回して、ローカルタイムの時刻を合わせる  
分針は15分単位で動きます。  
・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。  
動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。  
±12時間進むと自動で止まります。
- りゅうずの位置を①にして終了する

## クロノグラフを使う

この時計のクロノグラフは、1秒単位で最大60分まで表示することができます。  
・スタートから、60分間経過するとクロノグラフはリセットされ、停止します。  
・モード[CHR]のときは、機能針の表示を切り替えることはできません。



- モードを[CHR]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする  
秒針と機能針が、0分0秒を表示します。その他の針/表示は、モード[TME]の時刻を表示します。
- 計測する



- りゅうずの位置を変更すると、クロノグラフはリセットされます。
- モードを[TME]にし、りゅうずの位置を①にして終了する  
秒針と機能針が、通常の表示に戻ります。

## アラームを使う[Alarm]



この時計のアラームは、モード[TME]の表示時刻に基づきます。

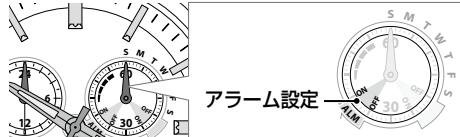
- モード[ALM]のときは、機能針の表示を切り替えることはできません。

### アラームの設定を確認する



- モードを[ALM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を①にする

時針/分針/24時間針がアラームの設定時刻を表示し、機能針がアラーム設定(ALM ON/OFF)を表示します。



- Ⓐボタンを押すごとに、アラーム設定のON/OFFが切り替わります。

ALM ON	ALM OFF
ALM ON	ALM OFF

- モードを[TME]にし、りゅうずの位置を①にして終了する

通常の表示に戻ります。

#### 設定時刻になると

設定時刻になると、アラームが15秒間鳴ります。

- ・りゅうずの位置が回以外のときは、アラームは鳴りません。

#### アラーム音を止めるときは

いずれかのボタンを押します。

### アラームの設定を変更する

- アラーム時刻の設定は、24時間制です。



- モードを[ALM]にして(2ページ)、りゅうずの位置を②にする

アラームの設定時刻が表示され、機能針がアラーム設定(ALM ON/OFF)を表示します。

- Ⓐボタンを2秒間以上押す  
分針が少し動いて、アラームの設定時刻を変更できるようになります。

- りゅうずを回して、アラームの時刻を設定する

- ・午前/午後は、24時間針で確認します。
- ・りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

- Ⓐボタンを押して、アラーム設定(ALM ON/OFF)を設定する

- ・Ⓐボタンを押すごとに、ON/OFFが切り替わります。

- モードを[TME]にし、りゅうずの位置を①にして終了する

通常の表示に戻ります。

#### アラーム音を確認する

手順1のとき、Ⓐボタンを押すと、押している間アラーム音が鳴り続けます。

## 充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。

充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光が当たると行われます。

次のような充電を心がけると、時計を快適にご使用いただけます。

- ・時計を使用しないときでも、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く
- ・週に一度は時計の文字板を太陽に向けて、5~6時間直射日光に当てる
- ・光の当たらない場所で長期保管をしない

### 注意

- ・故障の原因となりますので高温下(約60°C以上)での充電はおやめください。
- ・衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

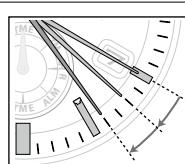
- ・充電完了後、時計は自動で充電を停止します(過充電防止機能)。充電のしすぎによって、時計や二次電池の性能が損なわれることはありません。



## 充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます(2秒運針)。すみやかに文字板に光を当てて充電してください。

- ・充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります(通常運針)。
- ・2秒運針が10日間以上続くと、充電不足で時計が停止します。



### 充電警告中(2秒運針中)は

時刻・日・曜は正しく表示されます。

- ・他のモードでも[TME]と同じ表示になり、使用できません。

## 環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態 を1日保つ	時計が停止して から通常に動き 出すまで	時計が停止して から充電完了 まで
屋外(晴天)	100,000	12分	9.5時間	30時間
屋外(曇天)	10,000	30分	25時間	70時間
30W蛍光灯 の20cm下	3,000	1.5時間	70時間	—
屋内照明	500	8時間	—	—

- ・直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが足りません。

### 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで

スマートフォンを使用する	スマートフォンを使用しない
約9ヶ月*	約1年6ヶ月

\* スマートフォンを1日に6時間接続し、通知を10回程度受け取った場合、時計の接続機能を使用できるのは、約100日間です。詳しくは、3ページをご覧ください。

### スマートフォン接続時の注意

- ・スマートフォンを1日に長時間接続したままでいたり、1日に何度も通知を受けると、多くの電力が消費されます。スマートフォンを常に接続して時計をお使いのときは、時計を充電するよう心がけてください。
- ・スマートフォンを使用しないときは、切断(5ページ)してください。
- ・スマートフォンの充電量にも配慮ください。

## パワーセーブ機能

暗所などで時計が発電できない状態が続いたとき、節電のために秒針を自動で停止させる機能です。

- ・パワーセーブ中も、時計は正しく動作しています。

・次の場合パワーセーブ機能は働きません。

- りゅうずの位置が①や②のとき
- モードが[CHR][ALM]のとき
- 秒針が通知を表示しているとき

### パワーセーブを解除するには

時計を操作するか、文字板に光が当たって発電が始まると、パワーセーブは解除され、通常の表示に戻ります。

- ・時刻情報や通知を受け取っても、パワーセーブは解除されます。

## 時刻・カレンダーを手動で合わせる

モード[TME]の時刻・カレンダーを手動で合わせます。

- ・ローカルタイムも、時差に応じて自動で修正されます。



### 1 モードを[TME]にして(2ページ)、りゅうずの位置を②にする

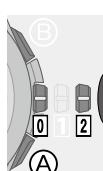
秒針が、現在選んでいる登録情報を指します。

### 2 ④ボタンを2秒間以上押し続ける

秒針が0秒を指して停止し、分針が少し動きます。

### 3 ④ボタンをくり返し押して、合わせる針/表示を選ぶ

- ・④ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。  
時/分 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)
- ・針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。



### 4 りゅうずを回して、針/表示を合わせる

- ・時針/分針/24時間針は連動します。
- ・午前/午後は、24時間針で確認します。
- ・日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
- ・時刻と日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

### 5 手順3と4をくり返す

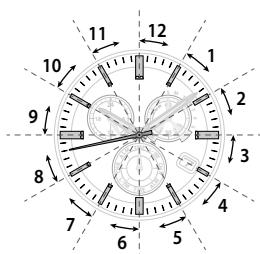
### 6 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にして終了する

## 年と月の表示について

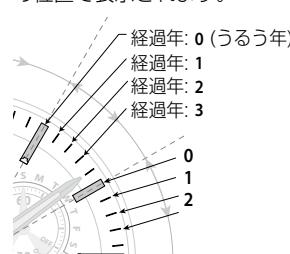
年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。

各数字が月に対応します。



「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



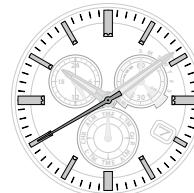
年	経過年	秒針の位置
2016 2020 2024 2028	0 (うるう年)	月の表示範囲の最初の目盛り
2017 2021 2025 2029	1	1日盛り目
2018 2022 2026 2030	2	2日盛り目
2019 2023 2027 2031	3	3日盛り目

・うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧いただけます。

<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

### 例: 2016年8月を設定するときの秒針の位置

2016年は、表より経過年が「0」なので、秒針は、8月の範囲の最初の目盛りを指すことがわかります。



## 困ったときは

### 基準位置を確認・修正する

時刻情報を適切に受信しても時刻・カレンダーが正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

- 各表示が正しい基準位置からずれていると、時刻情報を受信しても、時刻・カレンダーが正しく表示されません。

#### 基準位置とは

時刻・カレンダーを表示するために基準としている、各針/表示の位置のことです。

- 時針/分針/秒針の位置:0時00分0秒
- 24時間針:「24」
- 日表示の位置:「31」と「1」の間
- 機能針の位置:「30」(真下)



#### 1 モードを[CHR]にして(2ページ)、りゅうずの位置を2にする

秒針が、現在の基準位置に移動し停止します。

#### 2 ④ボタンを2秒間押し続ける

各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。

- 針が動き出したらボタンを離します。

#### 3 上の図を参考に、基準位置を確認する

正しい	りゅうずの位置を①にして、終了します。その後モードを[TME]にします。
ずれている	手順4に進み、基準位置を修正します。

#### 4 ④ボタンを押す

機能針が少し動き、機能針と日表示の基準位置の修正ができるようになります。

#### 5 ④ボタンをくり返し押して、修正する針/表示を選ぶ

- ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。  
機能針/日表示 → 時針/分針/24時間針 → 秒針 → (始めに戻る)
- 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
- 時針/分針/24時間針が、修正対象のときは、機能針は「60(真上)」を指します。

#### 6 りゅうずを回して、針/表示を修正する

- 時針/分針/24時間針は運動します。
- 日表示は、機能針が回転すると切り替わります。
- りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

#### 7 手順5と6をくり返す

#### 8 りゅうずの位置を①にする

#### 9 モードを[TME]にして終了する



### 時計の状態と対処方法

時計の状態	対処方法	詳細ページ
<strong>スマートフォンとの接続</strong>		
接続できない	充電量を確認する。 時計のモードやりゅうずの位置を確認する。 通知表示を解除する。 専用アプリを起動する。 スマートフォンのBluetooth設定を確認する。 電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。 別の保存先のスマートフォンを選ぶ。 登録を解除して、登録をやり直す。	2 5 4 — — — 5 5、4
登録できない	別の保存先を確認する。 登録情報を削除して、登録をやり直す。	4 5、4

時計の状態	対処方法	詳細ページ
<strong>スマートフォンとの接続(つづき)</strong>		
接続可能な距離内で、通知されない	接続状態(ON/OFF)を確認する。 充電量を確認する。 時計のモードやりゅうずの位置を確認する。 専用アプリを起動する。 アプリの通知設定を確認する。 電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	5 2 5 — — —
接続が切れる	専用アプリを起動する。 アプリの設定を確認する。 スマートフォンが、接続可能な範囲(数m程度)にあるか確認する。 電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	— — — —
時刻情報が取得できない	接続状態(ON/OFF)を確認する。 専用アプリを起動する。 アプリの設定を確認する。 スマートフォンが、接続可能な範囲(数m程度)にあるか確認する。 電波を遮るものや、ノイズが発生するものを避ける。	5 — — — —
スマートフォンを鳴らせない	専用アプリを起動する。 スマートフォンが、接続可能な範囲(数m程度)にいない。 スマートフォンにヘッドホンが差し込まれてないか確認する。 スマートフォンを登録する。	— — — 4
<strong>針の動きがおかしい</strong>		
時計をケースなどから出した途端に針が高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。現在の時刻が表示されるまで待ちます。	—
操作中に、意図しない動きをする	時計のモードを確認する。	2
秒針が動かない	充電量を確認する。 通知表示を解除する。	2 4
秒針が2秒ごとに動く	時計のモードを確認する。	2
充電量が表示されない	充電する。	7
接続状態が表示されない	機能針の表示を切り替える。 充電量を確認し、充電量レベルが「0」のときは、充電します。	2 2、7
アラーム設定が表示されない	時計のモードを確認する。 機能針の表示を切り替える。 充電する。	2 2 7
<strong>時刻・カレンダーがおかしい</strong>		
時刻や日が正しくない	時計のモードを確認する。 スマートフォンから時刻情報を取得して、時刻・カレンダーを合わせる。 スマートフォンの時刻・カレンダーを確認する。 手動で時刻・カレンダーを合わせる。 基準位置を確認・修正する。	2 — — 7 8
曜が表示されない	機能針の表示を切り替える。 充電する。	2 7

## オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないとときは、先に充電を行ってください。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

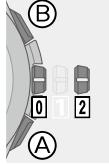
### 1 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。

8ページの手順4以降をご覧ください。

### 2 時刻・カレンダー合わせをする

手動(7ページ)または、スマートフォンと接続して時刻・カレンダー合わせをします。



**1 モードを[CHR]にして(2ページ)、りゅうずの位置を2にする**

**2 ①ボタンと②ボタンを同時に4秒間以上押して、離す**  
ボタンから手を離すと、アラーム音と振動が発生し、各針が現在の基準位置に動きます。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の1月1日曜日
ローカルタイム	UTCとの時差±0時間
アラーム設定	ALM OFF
アラーム時刻	午前0時0分
スマートフォンの登録情報	登録情報はそのまま、接続先が登録情報1になります。
接続状態	OFF

## Bluetoothについて

### ご使用になる前に

国または地域によっては、Bluetoothの使用が法的に許可されていない場合があります。ご利用の前に、以下の弊社サイトで、Bluetoothの使用が許可されている国の一覧をご確認ください。

<http://citizen.jp/support/index.html>

- 使用許可のない国でこの時計を利用すると、法的に罰せられる場合があります。
- Bluetooth通信は、第三者によって故意または偶然に傍受される場合があります。重要な通信や人命にかかわる通信には、この時計を使用しないでください。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

## エコ・ドライブ取り扱い上の注意

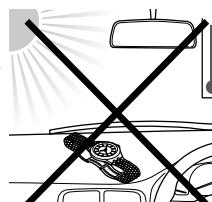
### 『時計は常に充電を心がけてお使いください』

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらぬため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

### △ 注意 充電上の注意

・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60°C以上)での充電は避けてください。

例) -白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電。白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。



### 《二次電池の交換について》

・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。  
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除(有料)をお奨めします。

### △ 警告 二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。

・一般的なゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

### △ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。  
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

## 防水性能について

### △ 警告 防水性能について

- ・時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
- ・WATER RESIST(ANT)xx barはW.R.xx barと表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンダイビング)やスクーバ潜水などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スクーバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示 文字板または 裏ぶた	仕様	使用例					
			水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベ使用のスクーバ潜水に使用。	ヘリウムガスを使用する飽和潜水に使用。	濡れたままのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	-	防水	×	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水	○	×	×	×	×	×
	W. R. 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×	×
	W. R. 10 bar W. R. 20 bar	10気圧防水、 20気圧防水	○	○	○	×	×	×

## お取り扱いにあたって

### △ 注意 人への危害を防ぐために

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・時計をしたまま就寝しないでください。思わずねがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

### △ 注意 使用上の注意

- ・りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかりと固定されているか確認してください。
- ・水分のついたまよりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・万一本体内部に水が入ったり、またガラスの内面にクロモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- ・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、ブッシュボタンなど)が外れる危険があります。

### △ 注意 携帯時の注意

- <バンドについて>
- ・皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
  - ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着がはがれ)また、かぶれの原因になります。
  - ・皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質(化粧品など)が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
  - ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
  - ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
  - ・ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
  - ・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
    - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
    - バンドのピンが飛び出しているとき
  - ・お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落したり、調整時にケガをする怖れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。
- <温度について>
- ・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。
- <磁気について>
- ・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

## △ 注意 携帯時の注意(つづき)

### <ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

### <静電気について>

- クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

### <化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用をお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

### <保護シールについて>

- 時計のガラス部分や金属部分(裏ぶた・バンド・中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

## △ 注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやブッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなることがありますので、ときどきりゅうずを回りさせたり、ブッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

### 時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまつたゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

### 夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

## 保証とアフターサービスについて

### <保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

### <修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・ブッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

### <修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

### <ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

### <定期点検(有償)について>

#### ・防水性能について

防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2~3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

#### ・分解掃除(内装修理)について

腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

### <修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

### <その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

## 製品仕様

機種	W770	型式	アナログソーラーパワーウオッチ
時間精度 (非受信時)	平均月差±15秒	常温(+5°C~+35°C)	携帯時
作動温度範囲	-10°C~+60°C		
表示機能	時刻: 時・分・秒・24時間 カレンダー: 日・曜		
持続時間	充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで - パワーセーブ機能が1日7.5時間作動する場合: 約9ヶ月(スマートフォンを使用するとき) 約1年6ヶ月(スマートフォンを使用しないとき) - パワーセーブ機能が1日中作動する場合: 約4年 充電警告が始まってから時計が停止するまで: 約10日		
使用電池	二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個		
付加機能	光発電機能 過充電防止機能 充電警告機能(2秒連針) 充電量表示機能(4段階) パワーセーブ機能(節電機能) スマートフォン接続に関する表示機能 接続状態表示機能(ON/OFF) 通信処理中表示機能(ACT) 通知表示機能(CALL/INFO/LL)	自動時刻受信機能 振動機能 振動モニター機能 アラーム機能(ALM ON/OFF) アラームモニター機能 クロノグラフ機能(60分計、1秒単位) ローカルタイム機能 パーカルチャルカレンダー(2100年2月28日まで) 衝撃検知機能	

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。